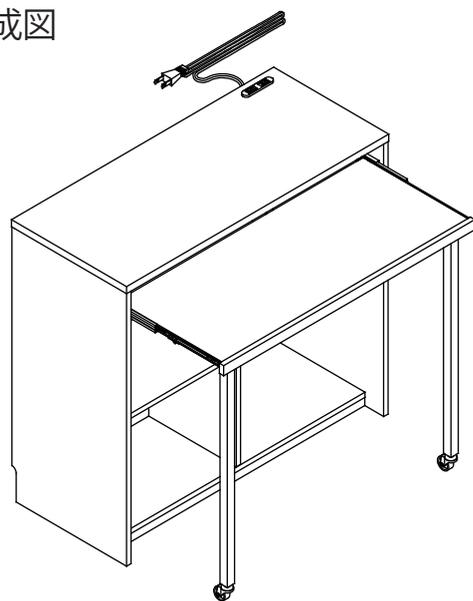


この度は、当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 ◇正しく安全にご使用頂く為に、この説明書をよくお読み頂いた上で組み立て、ご使用下さい。
 ◇また、いつまでもご覧いただける様に大切に保管していただきますようお願い致します。

< 取扱上の注意 >

- ◎腰掛けたり踏み台代わりにして乗らないで下さい。
- ◎立ち上げる時、本製品に手をつけて支えにしないで下さい。
- ◎傾斜、凸凹した床面は避け、平らな床面に設置して下さい。
- ◎組み立て式ですので、使用中に各部ネジ、ナット、カムロックの類の緩みが発生する可能性があります。緩んだままでのご使用を続けると、重大な事故につながる恐れがありますので、一カ月に一度は各部ネジ、ナット、カムロック類の緩みがないか、安全にお使いいただく為の点検をお願い致します。
- ◎本商品を移動する時は、落としたり、倒したり、物を壊したり怪我をする事がない様に二人でしっかり持ち上げ運んで下さい。
- ◎高温多湿な場所や、直射日光が当たる場所は避けて下さい。
- ◎熱い物を天板の上に直接に置かないようにして下さい。
- ◎表面の汚れは、柔らかい乾いた布で軽くふいて下さい。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤で汚れをおとし、乾いた布でよく拭き取って下さい。
シンナーやベンジン等は表面を傷めますので使わないで下さい。
- ◎正常なご使用をお願い致します。本品を所定の用途以外に使用しないで下さい。
- ◎商品をフローリングや畳等、柔らかい床の上でご使用されますと、傷や凹みができる場合がございます。床材に傷や凹みが出来ない様に、カーペット等の敷物を敷いた上でご使用下さい。

完成図



< 品質表示 >

外形寸法：約幅 900 X 約奥行 395 X 約高さ 826mm

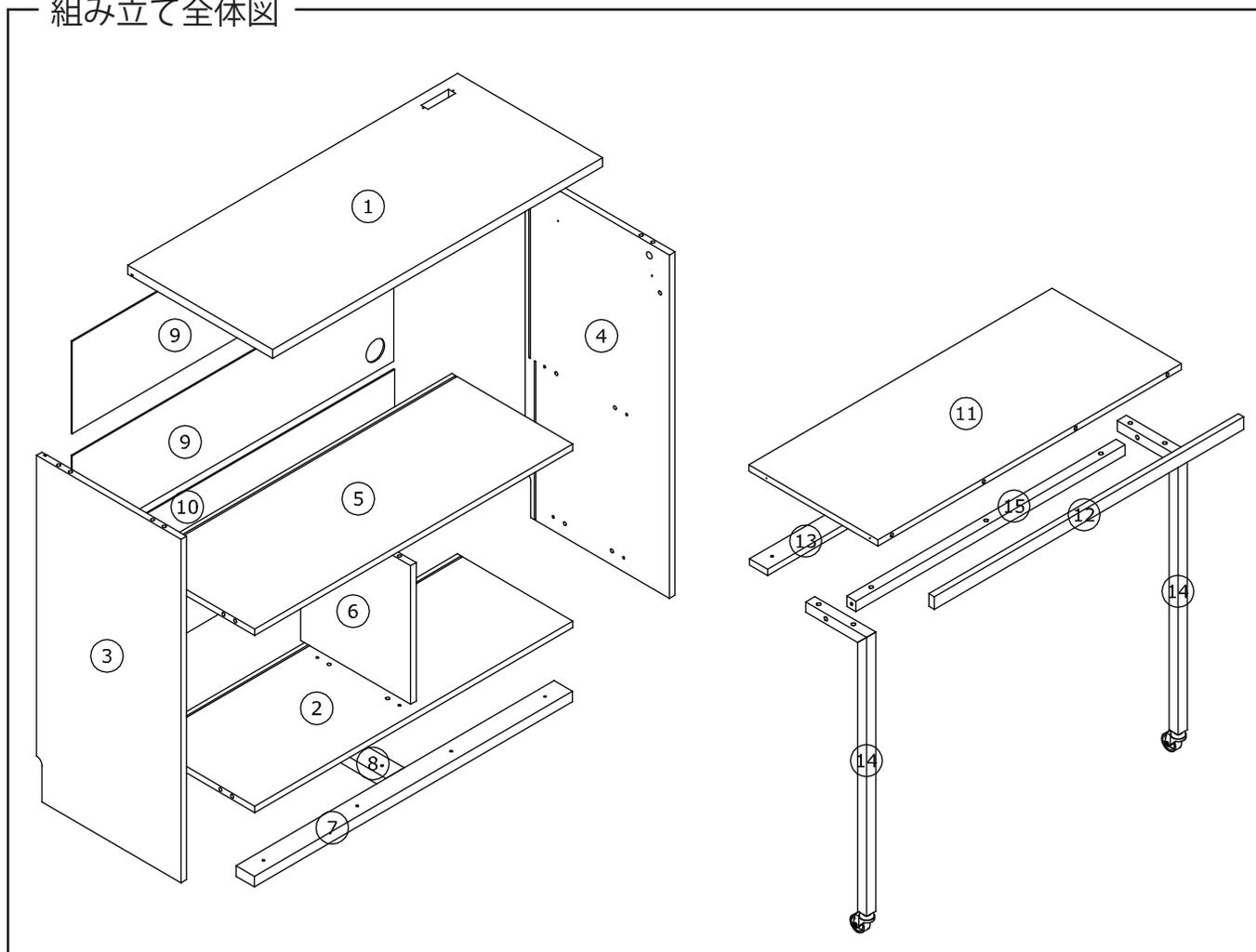
材質：

本体：合成樹脂化粧合板（メラミン）
 スチール（粉体塗装）

表示者：株式会社 宮武製作所
 大阪市東住吉区桑津 1-23-13

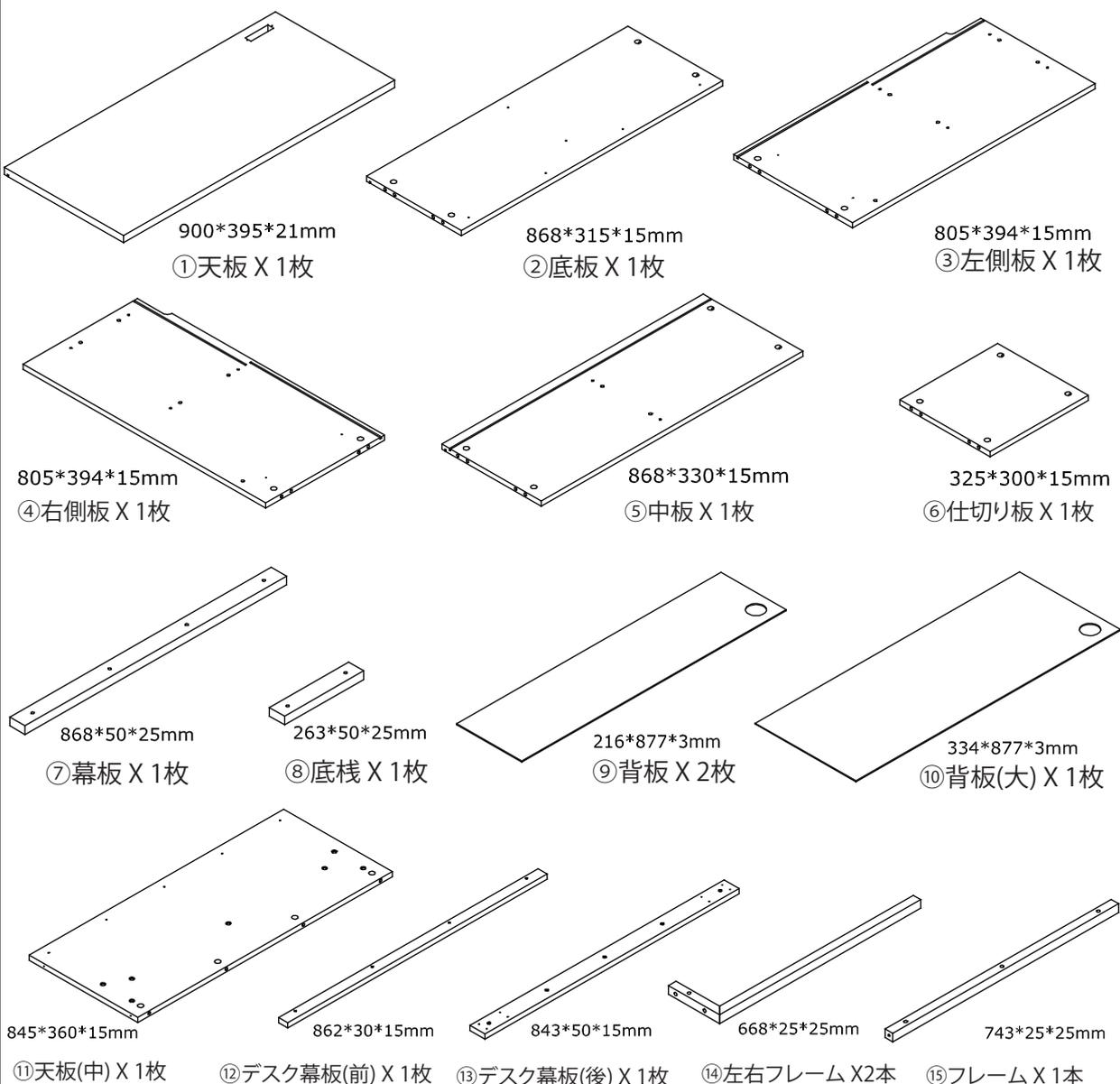
MADE IN CHINA

組み立て全体図

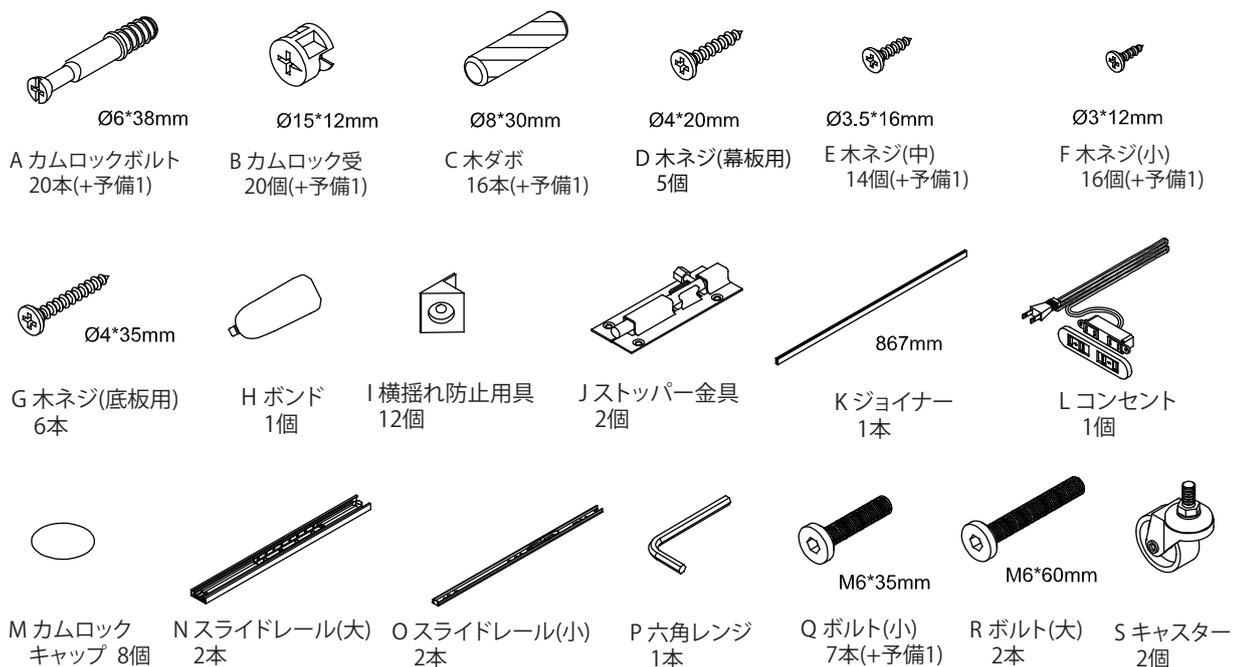


- 組立て前に部品がそろっているかご確認下さい。
- プラスドライバーをご用意ください。
- 組立ては、手袋又は軍手をはめ怪我等されないようご注意ください。

部材一覧



部品一覧



Step1

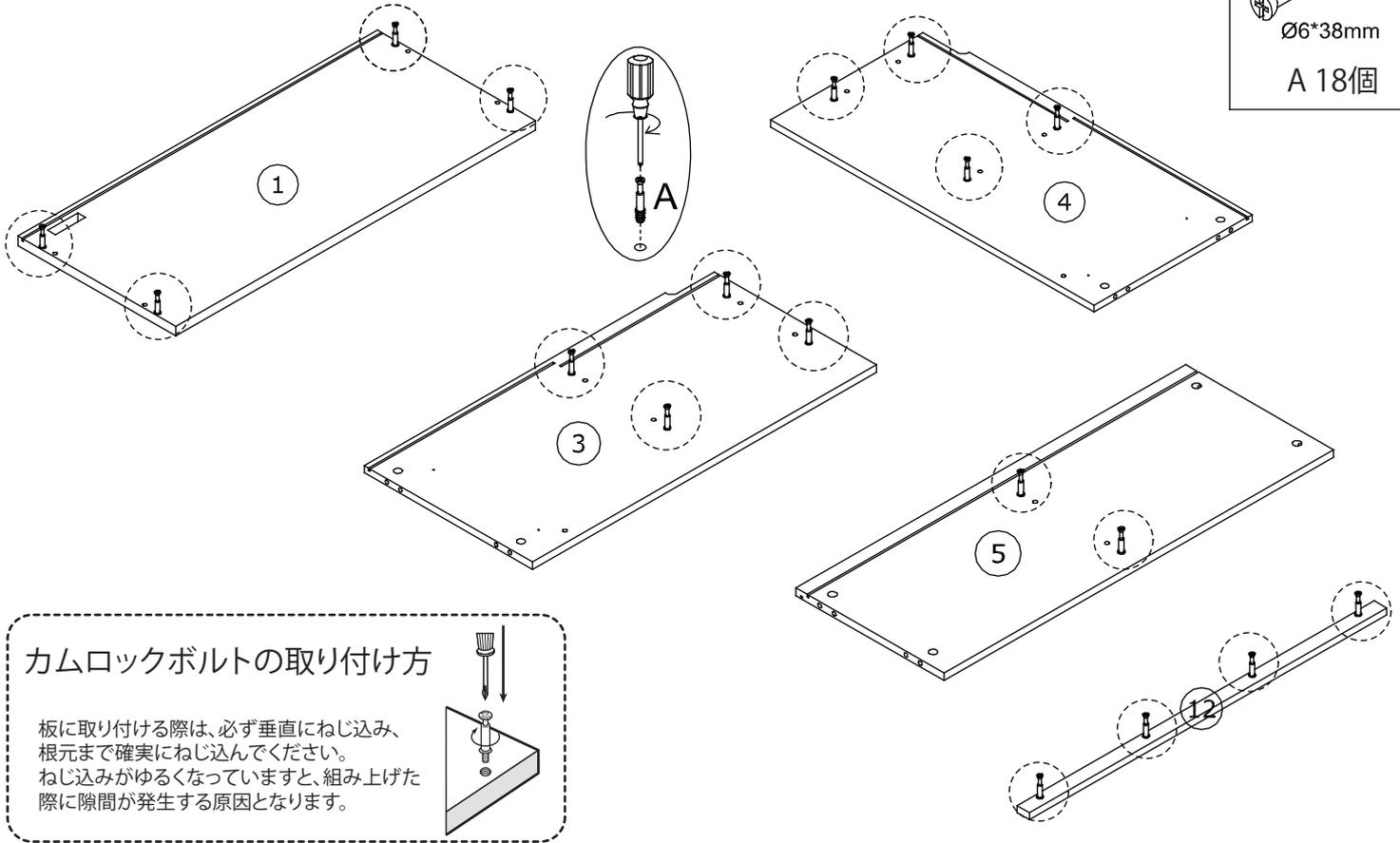
①天板 ③左側板 ④右側板 ⑤中板 ⑫デスク幕板の  で囲っている箇所にAカムロックボルトをドライバーで取り付けて下さい。

使用部品



Ø6*38mm

A 18個



カムロックボルトの取り付け方

板に取り付ける際は、必ず垂直にねじ込み、根元まで確実にねじ込んでください。ねじ込みがゆるくなっていると、組み上げた際に隙間が発生する原因となります。

Step2

③左側板 及び ④右側板にN スライドレール(大)をF 木ネジ(小)を使用し取り付けて下さい。

使用部品

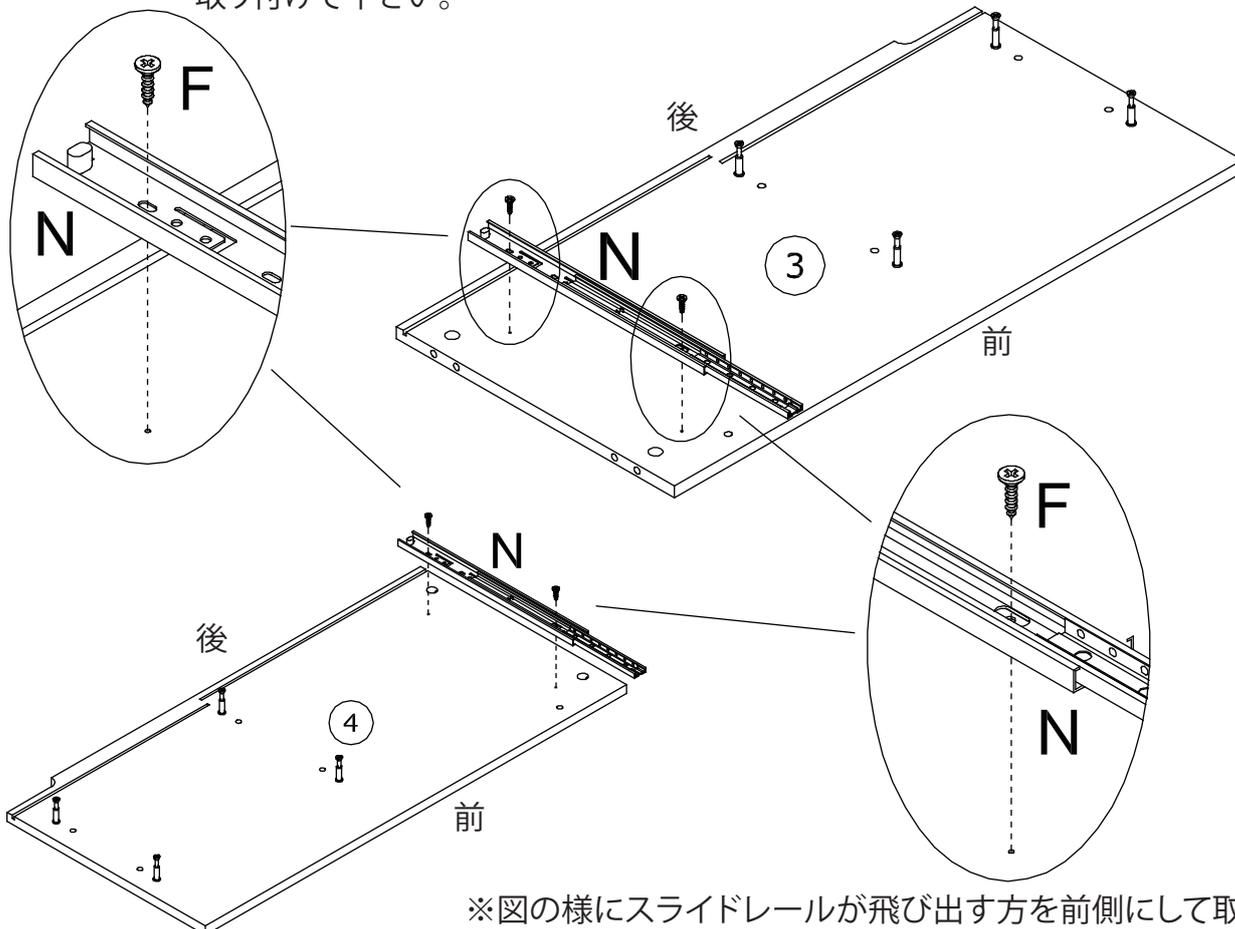


Ø3*12mm

F 4個



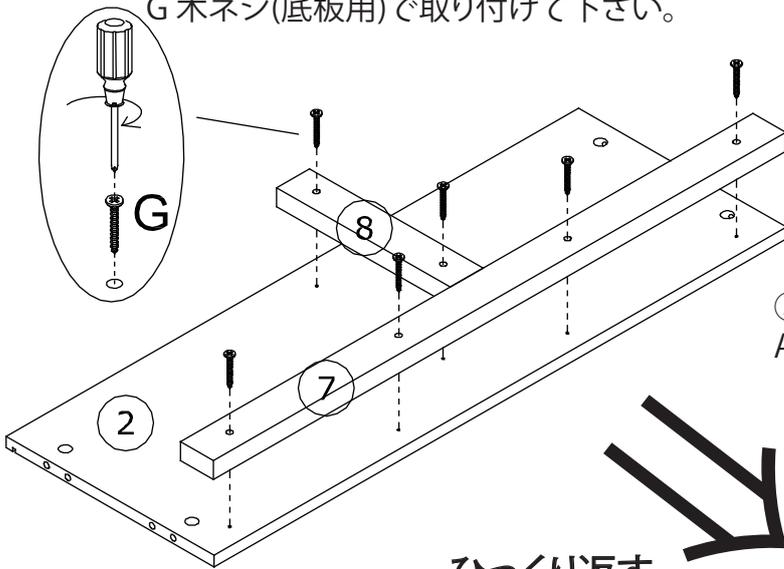
N 2本



※図の様にスライドレールが飛び出す方を前側にして取り付けて下さい。

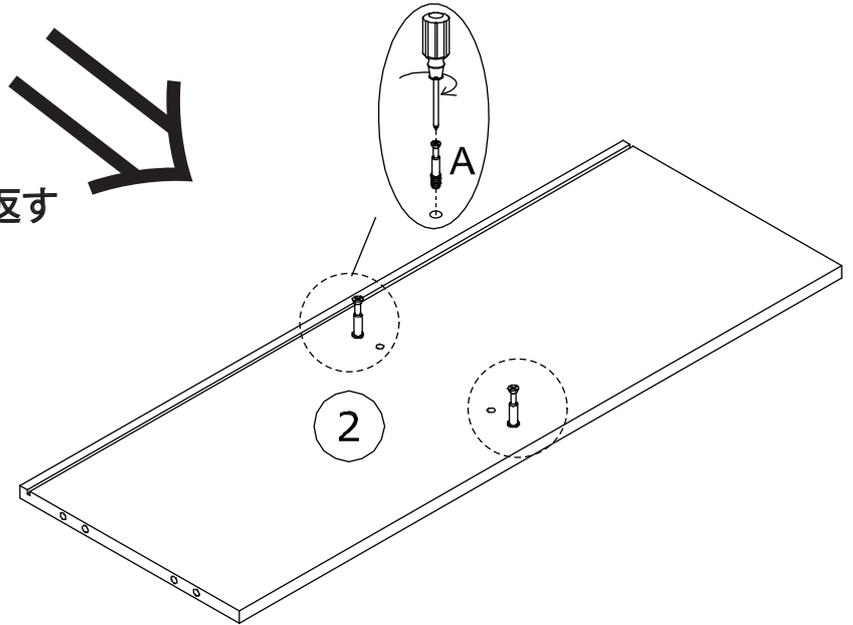
Step3

②底板に⑦幕板 ⑧底枠を下記図のように G 木ネジ(底板用)で取り付けて下さい。



②底板をひっくり返し、下記の箇所へ A カムロックボルトを取り付けて下さい。

ひっくり返す



使用部品

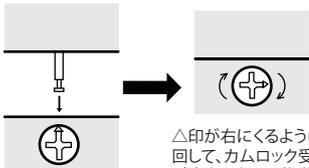


Step4

下記図の様に⑤中板と②底板に⑥仕切り板を C 木ダボを使用し取り付けて下さい。取り付けたら B カムロック受を差し込みまわして下さい。最後に M カムロックキャップを差し込んで下さい。

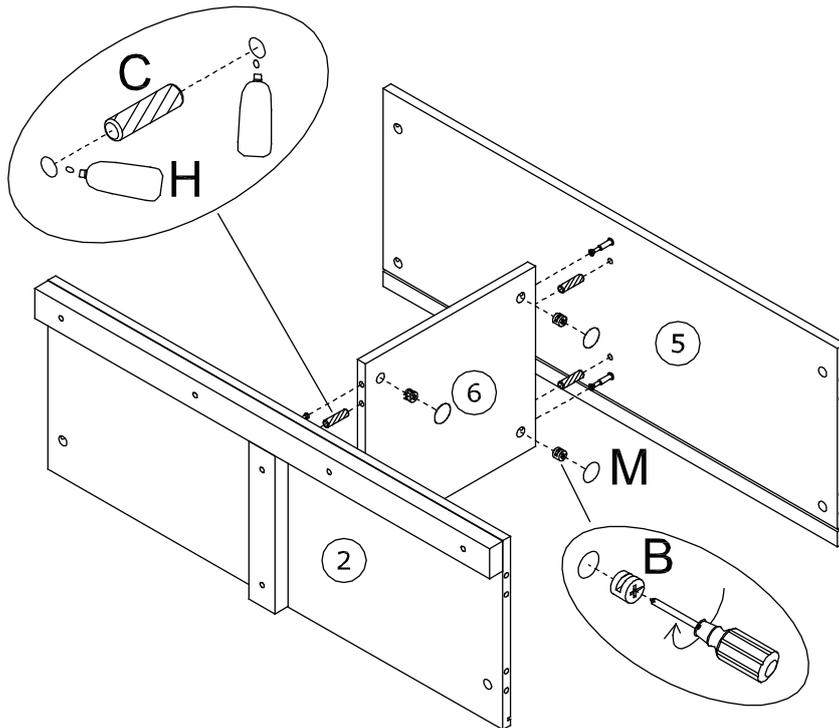
カムロックの連結方法は下図を参照してください。

カムロックボルトの差し込み穴方向に合わせてカムロック受けの△印の向きをプラスドライバーで合わせ、差し込んでください。(カムロック受けは△印の方向に穴が空いています。)



お願い

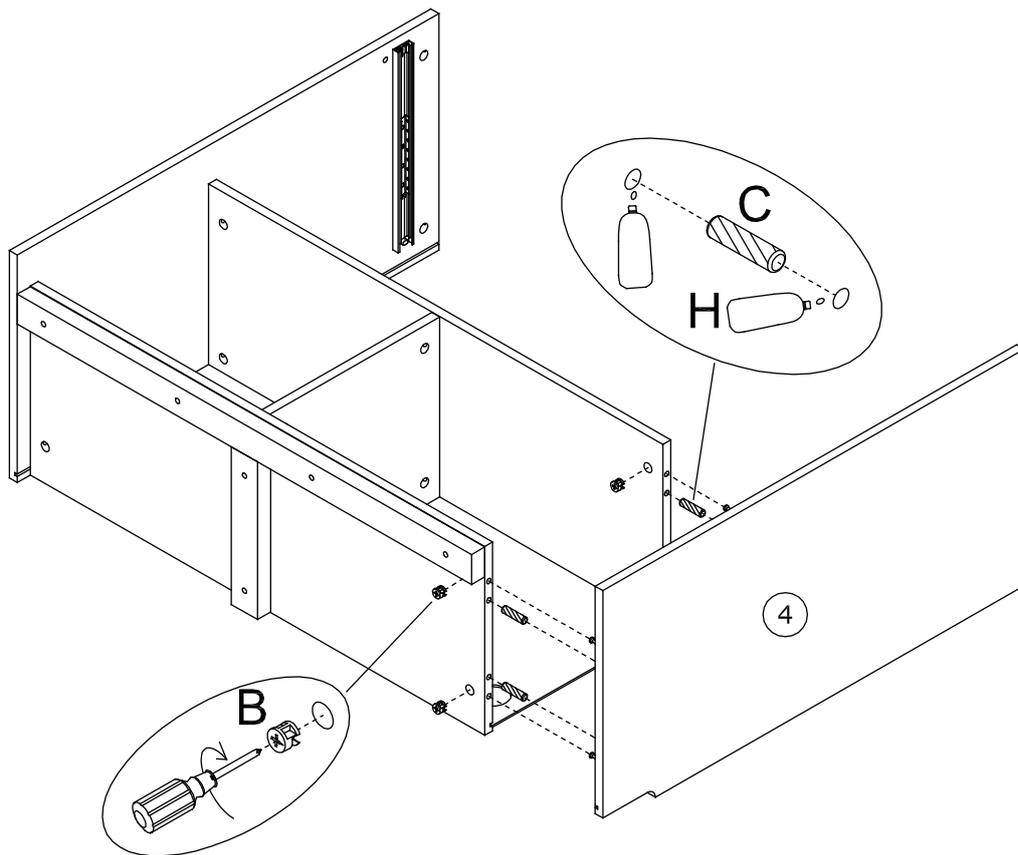
最後までカムロック受けを締めることで製品使用中のネジのゆるみは少なくなります。組立式ですのでネジがゆるむ場合がございます。定期的に各部点検して頂きますようお願い致します。



使用部品



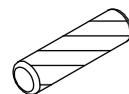
Step7 STEP5と同様に④右側板をC木ダボを使用し取り付けて下さい。
最後にBカムロック受を差し込み回して下さい。



使用部品



Ø15*12mm
B 4個



Ø8*30mm
C 4本



H 1個

Step8 ⑨背板を下記図のように溝に沿って差し込んで下さい。

※⑨背板と⑨背板の間にジョイナーを入れます。

まず⑨背板を1枚溝に沿って差し込み、そのあと、差し込んだ

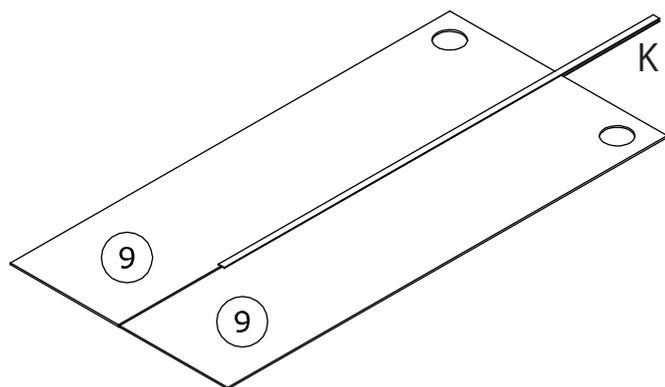
⑨背板にジョイナーを取り付け、最後にもう一枚の⑨背板を差し込む
方法が簡単です。

使用部品

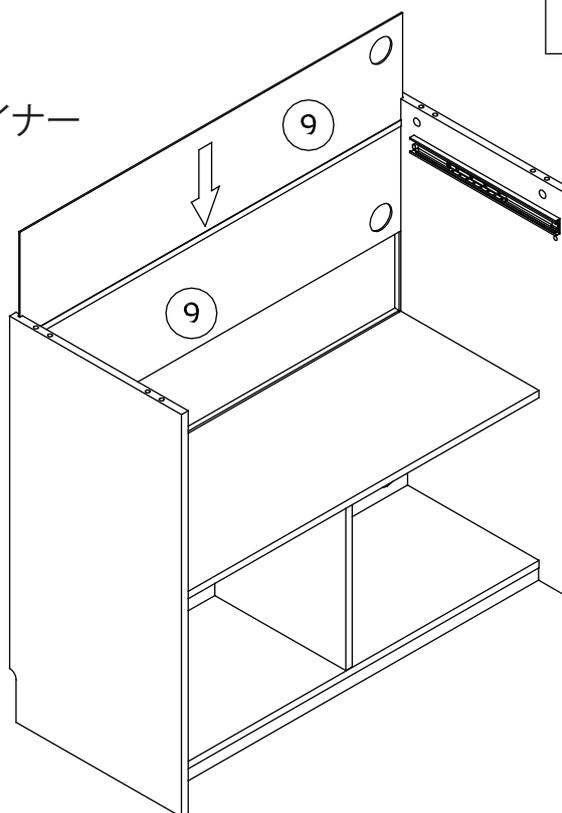


867mm

K 1本

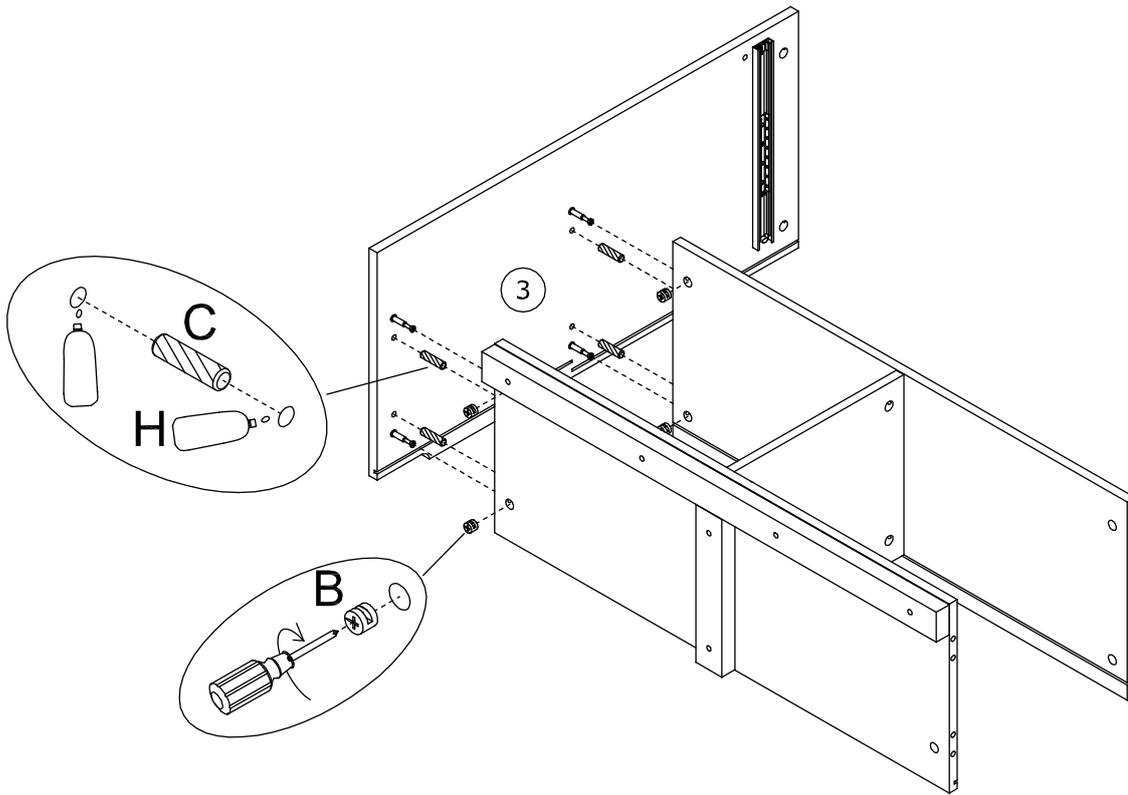


Kジョイナー



Step5

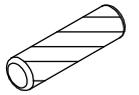
③左側板にSTEP4で組み立てた部材を下記図のようにC木ダボを使用し取り付け下さい。
取り付け後にBカムロック受けを差し込み回して下さい。



使用部品



Ø15*12mm
B 4個



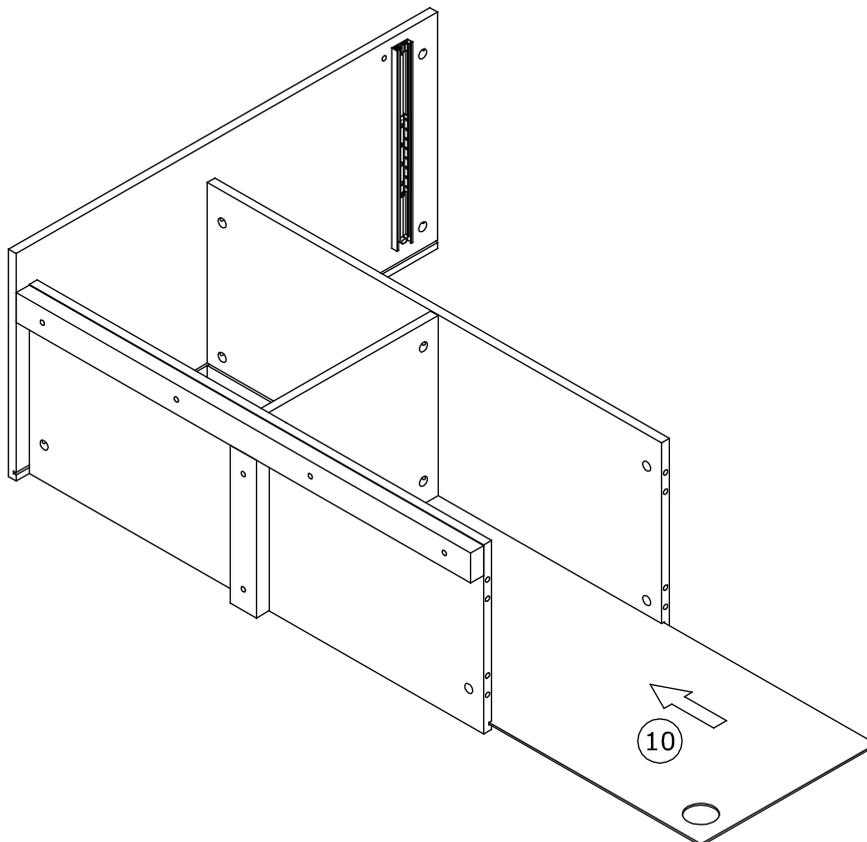
Ø8*30mm
C 4本



H 1個

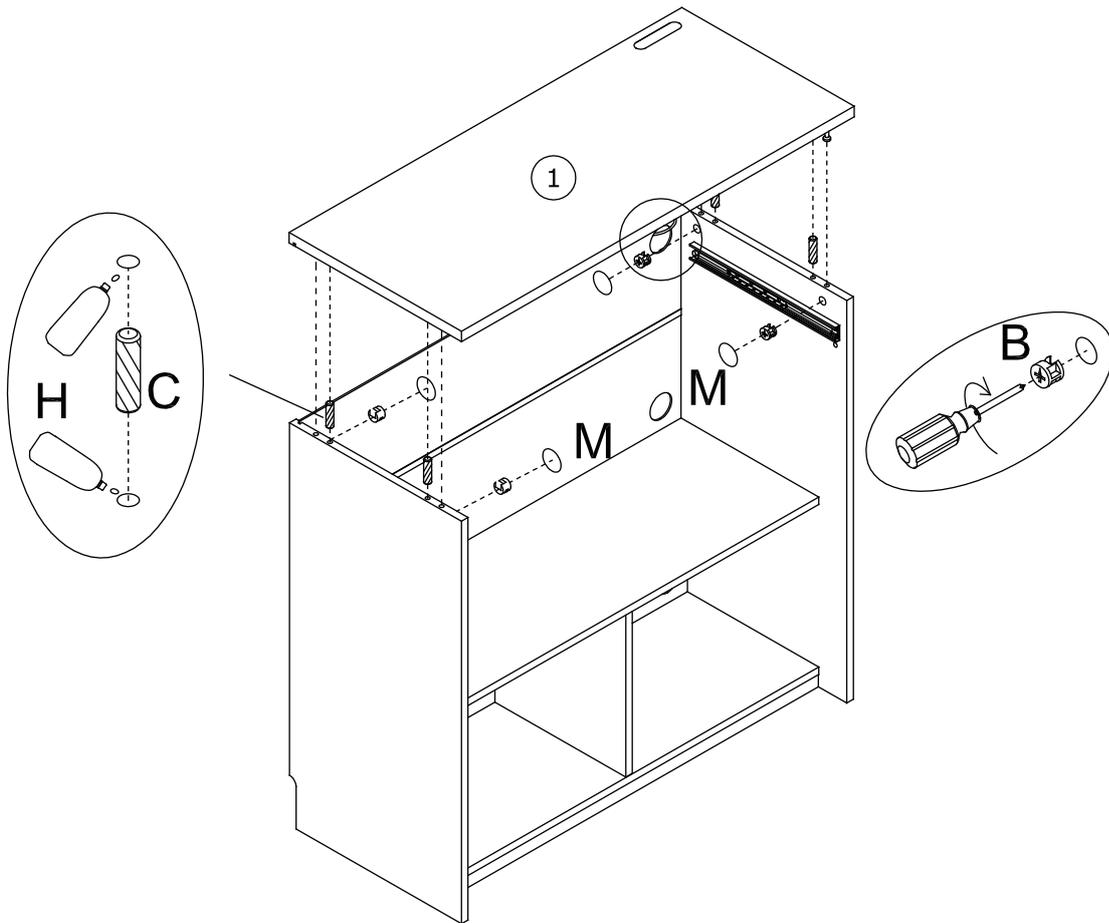
Step6

溝に沿って⑩背板(大)を差し込んで下さい。



Step9

①天板を下記図のようにC木ダボを使用し取り付けして下さい。
Bカムロック受を穴に差し込みまわして下さい。
最後にMカムロックキャップを取り付けて下さい。

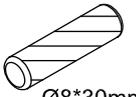


使用部品



Ø15*12mm

B 4個



Ø8*30mm

C 4本



H 1個



M 4個



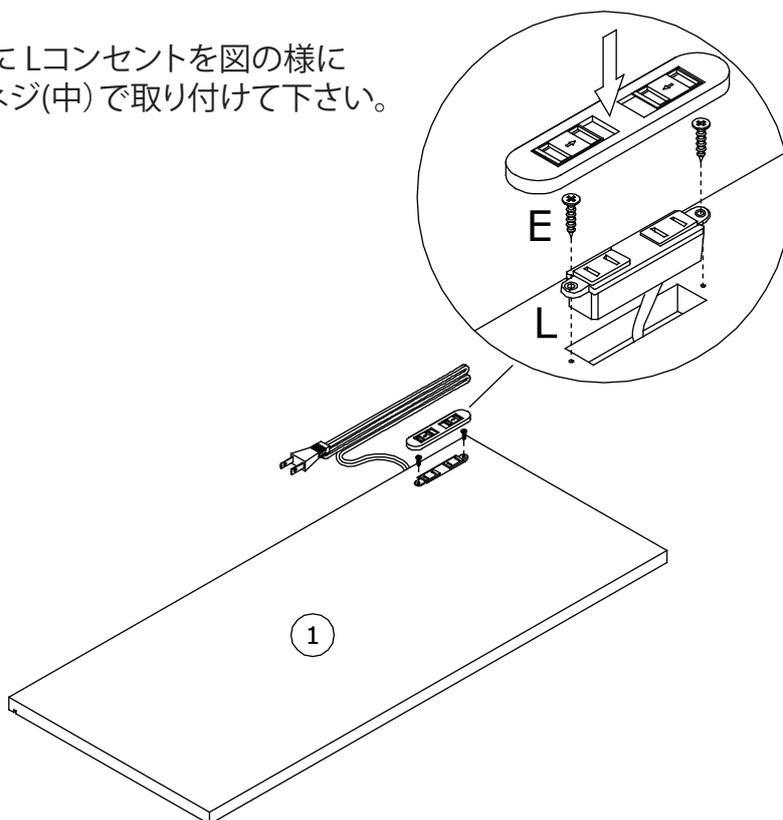
L 1個



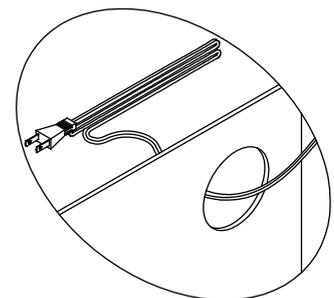
Ø3.5*16mm

E 2本

天板にLコンセントを図の様に
E木ネジ(中)で取り付けして下さい。



コンセントケーブルは下記図の
ようにデスク下の穴から外側に
出して下さい。



Step10

①天板(中)に⑫デスク幕板(前)を取り付け、穴にB カムロック受を差し込みまわして下さい。

⑬デスク幕板(後)をD 木ネジ(幕板用)を使用し取り付けて下さい。

使用部品



Ø15*12mm

B 4個



Ø4*20mm

D 5本

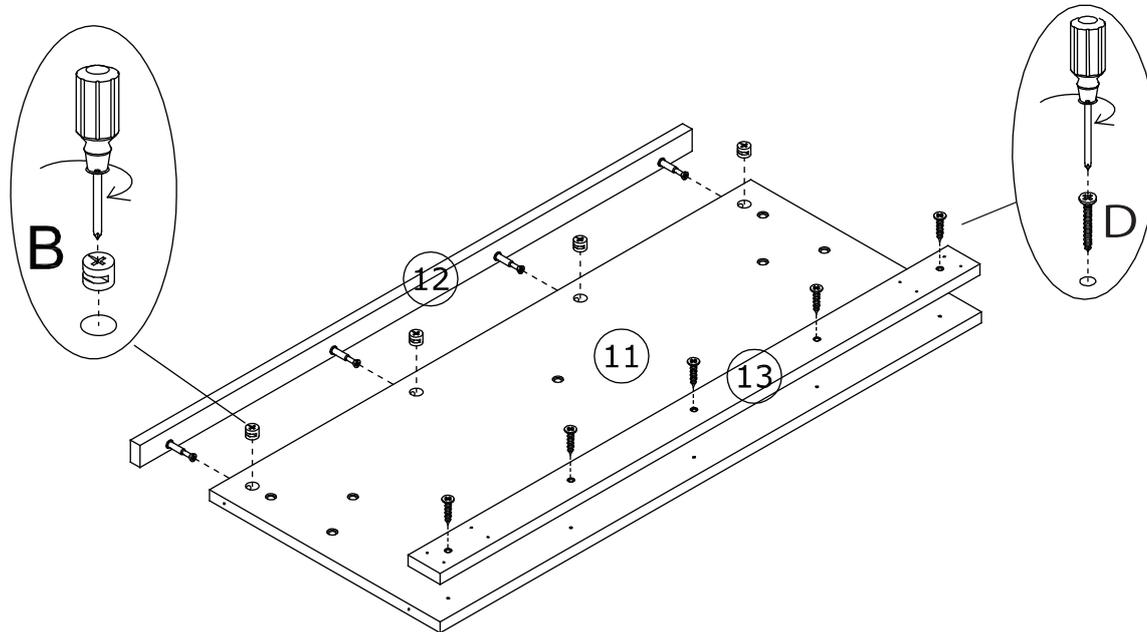


Ø3*12mm

F 4本

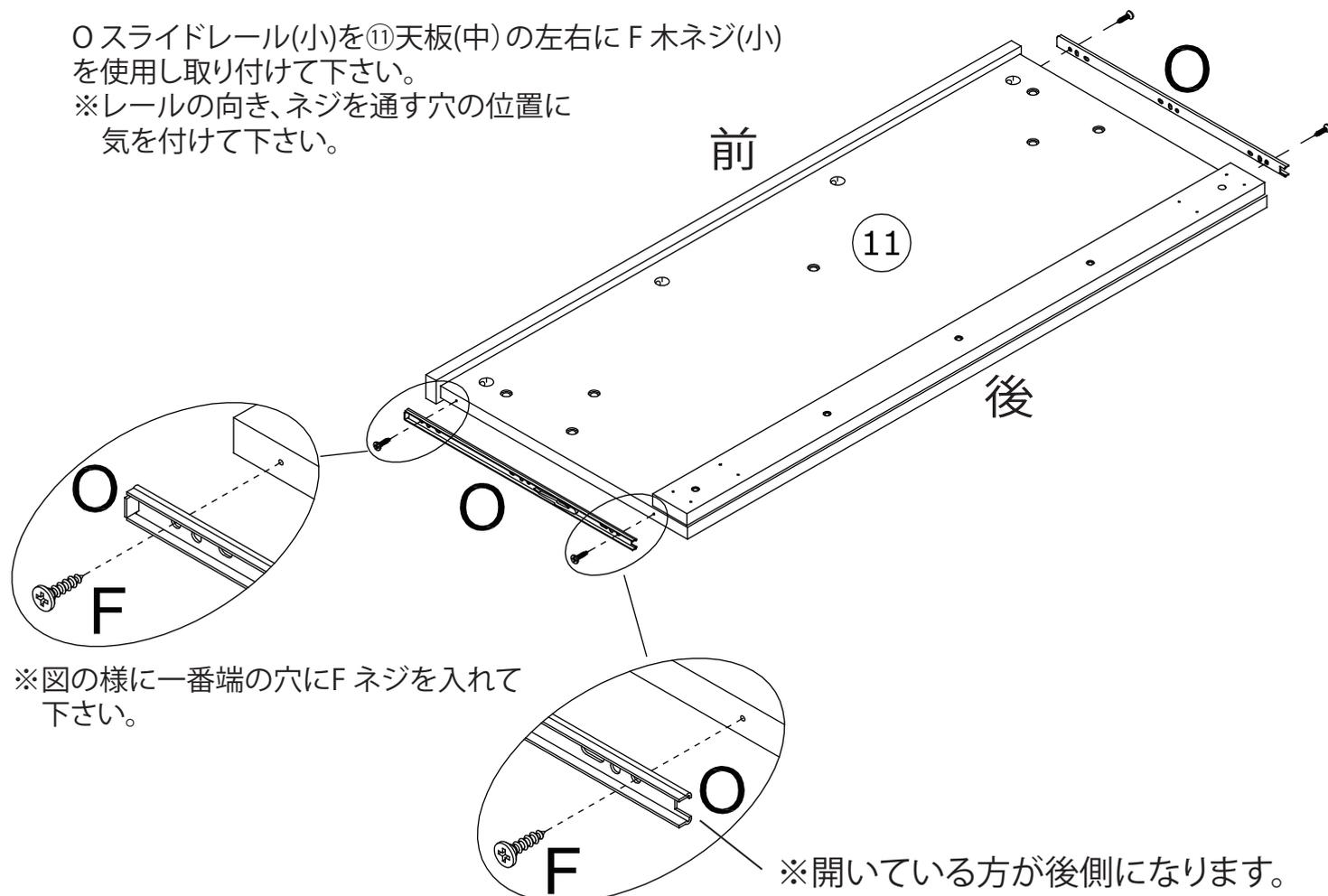


O 2本



O スライドレール(小)を①天板(中)の左右にF 木ネジ(小)を使用し取り付けて下さい。

※レールの向き、ネジを通す穴の位置に気を付けて下さい。



※図の様に一番端の穴にF ネジを入れて下さい。

※開いている方が後側になります。

※図の様に一番端の穴にF ネジを入れて下さい。

Step11

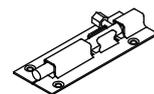
⑭左右フレームと⑮フレームをR ボルト(大)を使用し
取り付けて下さい。
※付属のP 六角レンチをご使用下さい。
S キャスターを時計周りに回して取り付けて下さい。

使用部品



Ø3*12mm

F 8本



J 2本



P 1本



M6*35mm

Q 7本

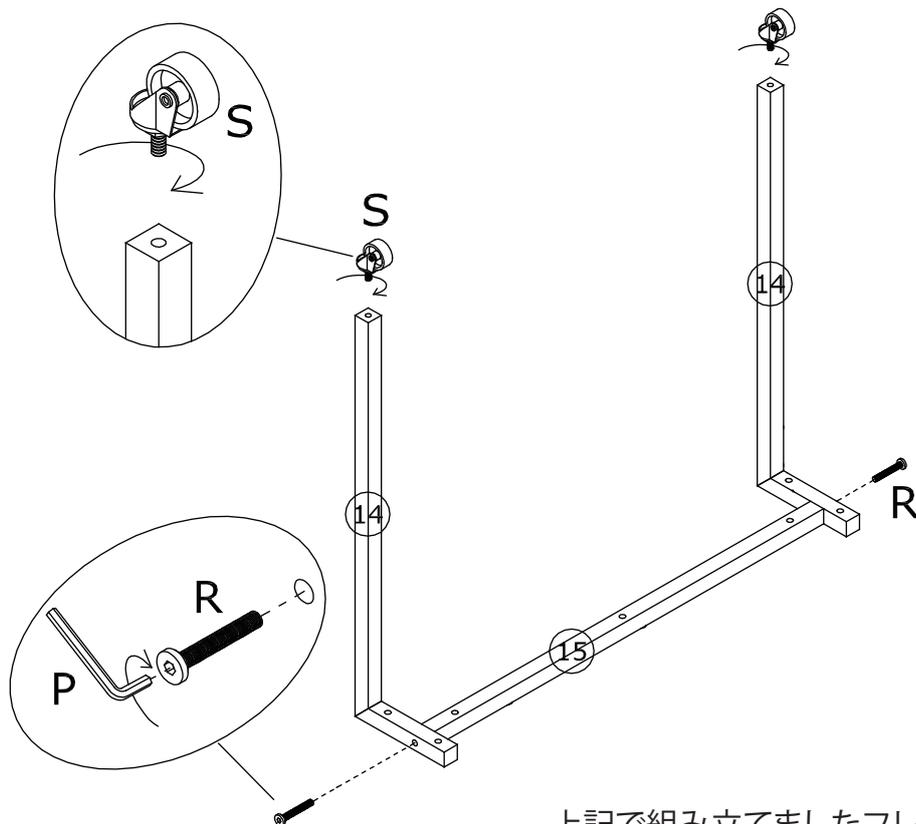


M6*60mm

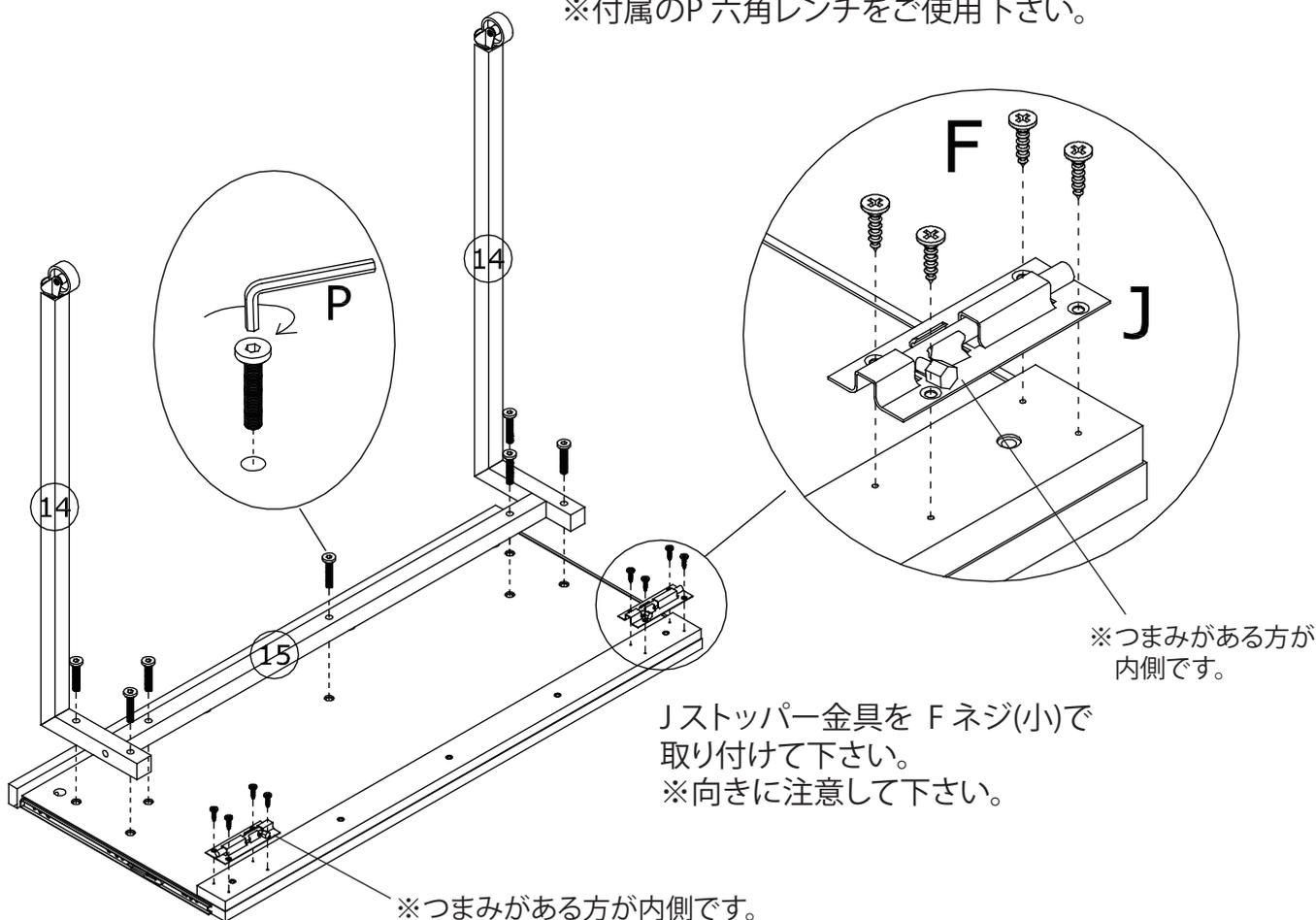
R 2本



S 2個



上記で組み立てましたフレームを下記図のように
Q ボルト(小)を使用し取り付けて下さい。
※付属のP 六角レンチをご使用下さい。



※つまみがある方が
内側です。

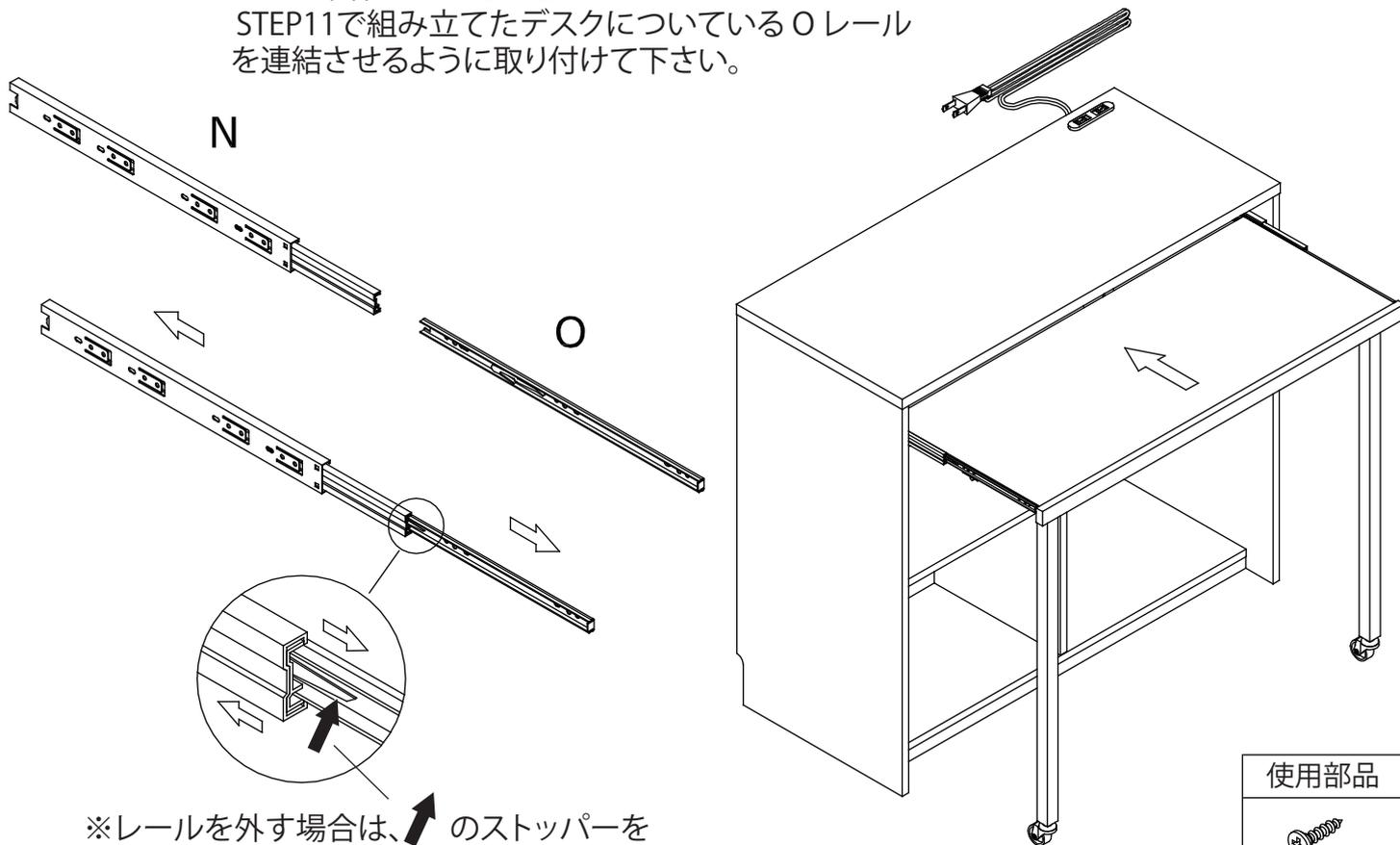
J ストッパー金具を F ネジ(小)で
取り付けて下さい。
※向きに注意して下さい。

※つまみがある方が内側です。

Step12

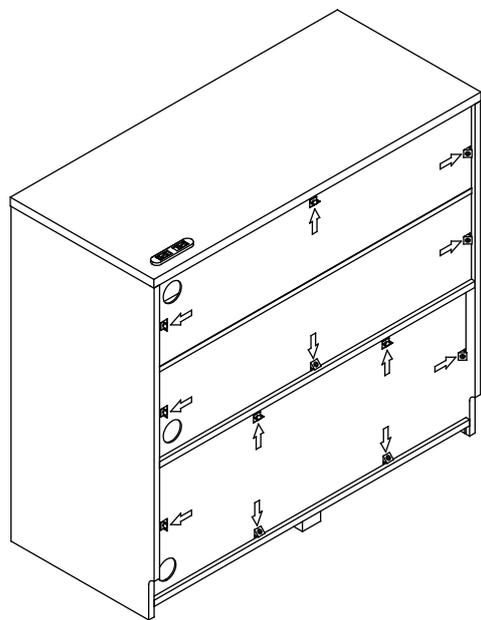
デスク本体に、先ほど組み立てましたデスクを取り付けて下さい。

※デスク本体についているNスライドレールに
STEP11で組み立てたデスクについているOレール
を連結させるように取り付けて下さい。

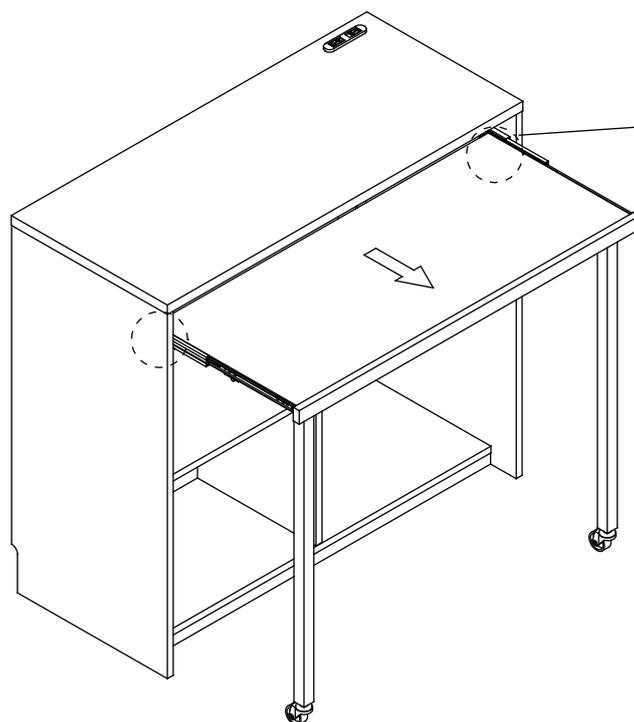


※レールを外す場合は、↑のストッパーを上
に上げながら引き離して下さい。

背面に1横揺れ防止用具をE木ネジ(中)で取り付けて下さい。



デスクを引き出した際は、安全の為
ストッパー金具を使用し固定して下さい。



ストッパー金具の
棒部を押し出し
本体の穴に入れて
下さい。

使用部品



Ø3.5*16mm
E 12本



112個

横揺れ防止用具の取り付け方

1横揺れ防止用具のはね部分を
本体背面の下図の背面板の
隙間に差し込みます。

差し込んだ後、付属のネジで
固定して下さい。

